

K1-005

会場：C405

時間：6月8日 10:00-10:15

## 伊豆 - 小笠原 - マリアナおよびトンガ前弧海域産マントルカンラン岩の岩石学的特徴と陸上オフィオライト

Petrological characteristics of mantle peridotites from Izu-Ogasawara-Mariana and Tonga forearc; relation to on land ophiolites.

# 石井 輝秋[1], 佐藤 暢[2]

# Teruaki Ishii[1], Hiroshi Sato[1]

[1] 東大・海洋研・大洋底構造地質, [2] 東大・海洋研・海洋底テクトニクス

[1] Ocean Floor Geotec., Ocean Res. Inst., Univ. Tokyo

島弧 - 海溝系の海溝陸側斜面上に産するカンラン岩 (= 海溝域カンラン岩) の地質学的, 岩石学的特徴は以下の様にまとめられる。A) 蛇紋岩海山は現在までのところ伊豆 - 小笠原 - マリアナ前弧域にのみ認められる前弧海山であり, 強度に枯渇したマントル由来のカンラン岩 (蛇紋岩化したハルツバージャイトとダナイト) から構成されている。一方, B) トンガ海溝のマントルは南北 1300km に渡り組成幅の広いカンラン岩 (ハルツバージャイト、レルゾライトとダナイト) から構成されている。Aはキプロスのトロードス・オフィオライトの、そしてBはオマーンのサマイル・オフィオライトのプロト・オフィオライトと考えられる。